

# お知らせ

令和2年2月14日

(公財) 若狭湾エネルギー研究センター

## 「イオンビーム分析研究会」を開催します

若狭湾エネルギー研究センターでは、当センターに設置されたイオンビーム加速器を用い、植物に含まれる微量金属分布からリチウム電池のリチウムイオン動態まで、県内外の多くの大学や研究機関などと連携し、様々な分析を行っています。

今回、当センターを利用している研究者・学生が集まり、これまでの研究成果を発表するとともに、イオンビーム分析法のより幅広い分野での活用と社会への貢献を目指して、下記のとおり研究会を開催しますので、お知らせします。

今回は、特に県外からの多くの研究者・学生が参加致しますので、新たな試みとして参加者に観光PRを行います。今後とも、敦賀市、観光協会、商工会議所他と連携し、地元貢献を目指した色々な取り組みを行っていく予定です。

### 記

1. 名 称 イオンビーム分析研究会
2. 日 時 令和2年 2月 28日 (金) 12:25 ～17:40
3. 会 場 福井県若狭湾エネルギー研究センター(敦賀市長谷 64 号 52 番地 1)  
2F 第 1 会議室
4. 内 容 別添プログラムのとおり

(公財) 若狭湾エネルギー研究センター  
イオンビーム分析研究会 (令和元年度)

このたび、若狭湾エネルギー研究センターにてイオンビームを利用した材料分析に関する研究会を開催いたします。

開催日時：令和2年2月28日(金)、12:25～17:40

開催場所：福井県若狭湾エネルギー研究センター(福井県敦賀市)、第1会議室

アクセス：敦賀駅からコミュニティバス(約40分)、もしくはタクシー(約15分)

※コミュニティバスについて

<https://www.city.tsuruga.lg.jp/communitybus/>

⑧山公文名線、敦賀駅 11:10 発、エネ研 11:48 着

※食事について

当センターでは食事の提供がありません。昼食をお済ませの上お越しく下さい。

研究会プログラム

招待講演 17分+質問3分

一般講演 10分+質問3分（合計15分割り当てていますが、切り替え時間を含みます）

12:25-12:30	開会の挨拶	
		若狭湾エネルギー研究センター専務理事 小林高正
<b>セッション1</b>		<b>座長 安田啓介</b>
12:30-12:50	アルミニウム蓄積植物－アジサイとチャー（招待講演）	
		京都府立大学 春山洋一
12:50-13:05	粒子線励起 X 線分析によるイネの根の重金属イメージング	
		福井県立大学 塩野克宏
13:05-13:20	micro-PIXE/PIGE 法を用いた茶葉断面の微量元素分析	
		京都府立大学生命環境科学研究科 安田香澄
13:20-13:35	GAGG 結晶の特性評価	
		福井大学 玉川洋一
13:35-13:50	イオンビームによる大気中での定量分析手法の開発	
		若狭湾エネルギー研究センター 鈴木耕拓
13:50-14:05	常温水分解により $\text{Li}_2\text{ZrO}_3$ に吸収された水素の蓄積および放出過程	
		名城大学 岩根慎平
14:05-14:20	第一原理計算を用いた $\text{LiCoO}_2$ 中の水素占有位置評価	
		名城大学 加藤僚
14:20-14:30	敦賀市観光、名産品案内	
		敦賀市観光交流課
<b>14:30-14:40</b>	<b>休憩</b>	
<b>セッション2</b>		<b>座長 木野村淳</b>
14:40-15:00	$\text{WNO}_y$ ( $y \approx 0.4$ )薄膜のイオン照射効果（招待講演）	
		名古屋大学工学研究科 松波紀明
15:00-15:15	高速イオンビームによる銀ナノ粒子表面の吸着元素分析	
		京都工芸繊維大学材料化学系 高廣克己
15:15-15:30	パルスイオン照射で金属材料中に形成される点欠陥の挙動の反応速度論解析	
		京都大学複合原子力科学研究所 中窪真史
15:30-15:45	若狭湾エネルギー研究センターでの TOF-ERDA 測定の現状	
		京都府立大学生命環境科学研究科 安田啓介
15:45-16:00	角度分解 TOF-ERDA 法開発のための分割型シリコン半導体検出器に関する研究	
		京都府立大学生命環境学部 操谷佳奈
16:00-16:10	株式会社サンルックスにおける放射線教材紹介	
		株式会社サンルックス 菊本秀樹

16:10-16:20	休憩
セッション 3	座長 松波紀明
16:20-16:35	イオンビーム分析を用いた正極/固体電解質界面におけるリチウムイオン移動機構の解明 名城大学 宇佐見太毅
16:35-16:50	プラズマ利用イオン注入法で作製したダイヤモンド状炭素膜の親水性への水素量の影響 産業技術総合研究所 中尾節男
16:50-17:05	ERDA 測定 of 標準試料に関する検討 京都大学複合原子力科学研究所 木野村淳
17:05-17:20	多様な成膜条件で形成された DLC 薄膜の低速陽電子ビームによる評価 京都大学複合原子力科学研究所 池田佳祐
17:20-17:35	照射誘起析出現象の RBS 「その場」測定 若狭湾エネルギー研究センター 岩瀬彰宏
17:35-17:40	閉会の挨拶 若狭湾エネルギー研究センター所長 岩瀬彰宏

※28 日プログラム終了後および 29 日午前に若狭湾エネルギー研究センターとユーザー間の意見交換の場を設けます。